

■ 施設整備の方針・内容について

表 他自治体における施設整備基本方針例

自治体名	基本方針	備考
野洲市 (滋賀県)	方針1：環境にやさしい施設 方針2：資源利用・エネルギー利用 方針3：地球温暖化防止に資する施設 方針4：安全に配慮し、安定した運転 方針5：効率的な処理によるコスト削減 方針6：地域の活性化に役立つ計画 方針7：次世代型市民施設	平成 28 年度 稼働予定 (資料) 施設整備基本計画概要版 抜粋
前橋市 (群馬県)	方針1：環境に最大限配慮した施設 方針2：安心、安全で安定した施設 方針3：循環型・低炭素社会に適応した施設 方針4：エネルギーと資源の有効活用を積極的に推進する施設 方針5：環境学習の拠点施設 方針6：周辺環境との調和を図った施設 方針7：経済性に配慮した施設	平成 28 年度 稼働予定 (資料) 施設整備基本計画概要版
恵庭市 (北海道)	方針1：環境保全に配慮した安心な施設 方針2：安全で安定的な稼働が出来る施設 方針3：循環型社会形成に貢献できる施設 方針4：市民に親しまれる施設 方針5：経済性に配慮した施設	平成 30 年度 稼働予定 (資料) 焼却施設検討専門部会 最終報告書抜粋
豊中市 伊丹市 クリンセント (大阪府) (兵庫県)	方針1：環境に配慮した施設 方針2：安全で安心な市民に愛され貢献する施設 方針3：経済性に優れた施設	平成 28 年度 稼働予定 (資料) 施設整備基本計画抜粋
寝屋川市 (大阪府)	方針1：環境対策に優れた安全な施設 方針2：循環型社会・低炭素社会の実現をめざす施設 方針3：周辺環境と調和し、市民に親しまれる施設 方針4：経済的に優れた施設	平成 28 年度 稼働予定 (資料) 施設建設基本計画抜粋

【安心・安全・災害対策】

- ・ 運営期間中の安全性確保
- ・ 施設の安全性の向上
- ・ 地元、周辺住民の安全性を確保
- ・ 利用者への安全に配慮
- ・ 災害に強く
- ・ 災害時における地域支援機能の確保

【安定稼働性・事業運営の安定性】

- ・ 熱回収施設・リサイクル施設における安定的かつ効率的な稼働
- ・ 経営安定化
- ・ 施設建設費、用地取得費、維持管理費及び収集運搬に至るまでの事業コストの低減

【環境保全性】

- ・ 環境負荷の低減、ダイオキシン等の環境汚染物質を抑制

【経済性・効率性・エネルギー活用】

- ・ エネルギーの有効利用

- ・ 処理効率を重視
- ・ 施設整備にかかる適正な規模の選定
- ・ ごみの減容化・無害化及び資源化性能に優れた施設
- ・ 可能な限り資源物を回収
- ・ 熱エネルギーを有効利用
- ・ 処理プロセスによる温室効果ガスを可能な限り低減するシステムの構築
- ・ 省エネルギーシステム・余熱利用計画
- ・ エネルギー回収システムの効率化

【地域との調和・活性化】

- ・ 施設受入地元及び周辺地域の活性化
- ・ 地域還元・実現可能な整備
- ・ ごみ処理学習・見学等を通じ、市民が集い、学べる機能
- ・ リユースステーションの機能を備えて市民が直接情報や不用品の交換ができる場
- ・ 環境市民活動の拠点
- ・ 施設を活用した環境意識の啓発
- ・ 周辺環境との調和及び緑化

野 洲 市（滋賀県）

施 設 概 要

【施設規模】（平成 28 年度稼働予定）

■ 焼却規模：43 t / 日 【21.5 t / 24 h × 2 炉】

■ 処理方式：全連続焼却式ストーカ炉

【リサイクル施設】

■ 処理能力：8 t / 日 【5 h】

【付帯施設】 余熱利用施設の建設

整 備 方 針

【各整備方針に係る具体的内容】

計画施設の整備については、次の 7 つの柱を整備方針として掲げ、3 R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）を中心とした循環型社会の形成を実現するとともに、市民参加や啓発機能を併せ持った高機能かつ低環境負荷のシステムづくりを行うものとする。

1. 環境に優しい施設

排出基準を順守することはもとより、ダイオキシン等の環境汚染物質を抑制し、周辺環境への負荷を低減するとともに、周辺環境との調和及び緑化を進める。

2. 資源利用・エネルギー利用

ごみの減容化、無害化及び資源化性能に優れた施設とし、可能な限り資源物を回収し、熱エネルギーを有効利用する。

3. 地球温暖化防止に資する施設

処理プロセスによる温室効果ガスを可能な限り低減するシステム構築及び省エネルギーシステム・余熱利用計画による地球温暖化の防止を図る。

4. 安全に配慮し、安定した運転

地元、周辺の市民の安全性を確保し、災害にも強く、利用者への安全に配慮する。また、維持管理及び耐久性に優れた、ごみの諸条件への柔軟な対応を行う。

5. 効率的な処理によるコスト削減

処理効率を重視した上で、施設整備にかかる適正な規模の選定、施設建設費、用地取得費、維持管理費及び集積運搬に至るまでの事業コストの削減を図る。

6. 地域の活性化に役立つ計画

施設受入地元及び周辺地域の活性化について、地元住民の意思を聞きながら検討し、事例を踏まえ、地域還元・実現可能な整備を図る。

7. 次世代型市民施設

ごみ処理学習・見学等を通じ、市民が集え、学べる機能に加え、リユースステーションの機能を備えて、市民が直接、情報や不用品の交換ができる場を設けた、環境市民活動の拠点とする。

前 橋 市（群馬県）
施 設 概 要
【施設規模】（平成 28 年度稼働予定） ■ 焼却規模：396 t / 日（132 t / 24 h × 3 炉） ■ 処理方式：ストーカ式
整 備 方 針
1. 環境に最大限配慮した施設として （県内一厳しい排ガス基準値の設定） 地球環境や地域環境、施設周辺の生活環境を保全するために、有害物質の排出の抑制を行い環境負荷の低減を図った施設とします。
2. 安心、安全で安定した施設として （実績が多く、安定して稼働する焼却方式（ストーカ方式）の採用） 消費生活や事業活動に伴って毎日発生する廃棄物の処理に支障をきたすと、生活環境の保全に重大な影響を及ぼすことになります。そのため、万全の対策を実施することにより安心、安全で安定した施設とします。
3. 循環型・低炭素社会に適応した施設として （ごみ減量化を見込み、施設規模を 396 t / 日に設定（現 3 工場合計 538 t / 日）） 前橋市は、循環型・低炭素社会の構築を目指して、第一にごみの発生を抑制（Reduce）し、第二に再使用（Reuse）し、第三に再生利用（Recycle）を進め、最後に残ったものを適正処理・処分する 3 R の廃棄物処理システムづくりを推進しています。新清掃工場は、この 3 R を踏まえたうえで、循環型・低炭素社会に適応した施設とします。
4. エネルギーと資源の有効活用を積極的に推進する施設として （発電効率の向上や焼却灰の有効活用による最終処分場の延命化） 新清掃工場は、ごみの焼却処理に伴い発生する熱エネルギーをより一層回収することで発電効率の向上を目指し、発生する焼却灰もできる限り有効活用する施設とします。
5. 環境学習の拠点施設として （地球にやさしい生活習慣を身に付けるための環境学習機能の充実） 新清掃工場は、単なるごみを処理するだけでなく、環境学習の拠点として、学び、触れあうことのできる機能を備えた、市民に親しまれる施設とします。
6. 周辺環境との調和を図った施設として （周辺の自然と調和したデザイン、緑地計画の導入） 新清掃工場は、できる限りごみ処理施設のイメージを緩和するために、周辺環境と調和した建築デザインや緑地計画等に配慮した施設とします。
7. 経済性に配慮した施設として （市民の負担が少ない経済性に優れた設備の導入） 新清掃工場の建設に当たっては、当初の建設費のみならず、ランニングコストを考慮した施設とし、処理費用や補修費など、運営後の維持管理費用の低減を図ることで、総合的なごみ処理コストの削減を目指します。

恵庭市（北海道）

施設概要

【施設規模】（平成 30 年度稼働予定）

- 焼却規模：52 t / 日
- 処理方式：処理方式については、現在検討中

【付帯施設】

公園・緑地・スポーツ施設等の整備を検討中

整備方針

1. 環境保全に配慮した安心な施設

ダイオキシン類をはじめとする有害物質について、法で定める環境・安全基準への対応に留まらず、可能な限りの抑制を図り、環境負荷の低減や施設周辺の生活環境の保全に努め、周辺の自然環境や景観との調和にも十分配慮した施設を目指します。さらに、市民に対する積極的な情報公開により、安心できる施設を目指します。

2. 安全で安定的な稼働ができる施設

毎日発生するごみ処理の支障がきたさないよう、安定かつ確実に処理できる施設とし、万全な危機管理体制による安心・安全な施設を目指します。また、地震等の自然災害にも強い耐震性に優れた施設を目指します。

3. 循環型社会形成に貢献できる施設

最終処分量の削減やごみ処理により発生する熱エネルギーを効率的に最大限有効活用し、低炭素社会や循環型社会の構築に貢献できる施設を目指します。

4. 市民に親しまれる施設

市民が集い、憩うことができる機能を検討し、市民が親近感をもてる施設を目指します。また、施設見学やごみ処理学習等を通じて、環境教育・環境学習の拠点となるような施設を目指します。

5. 経済に配慮した施設

施設の処理性能を保持し、環境面・安全面に十分配慮した上で、設備の合理化・コンパクト化を図り、建設費及び維持管理費のコスト削減を目指します。

豊中市・伊丹市（大阪府・兵庫県）

施 設 概 要

【施設規模】（平成 28 年度稼働予定）

■ 焼却規模：525 t / 日（175 t / 24 h × 3 炉）

■ 処理方式：ストーカ式

【付帯施設】

余熱利用施設

整 備 方 針

1. 環境に配慮した施設

新ごみ焼却施設においては、ごみ処理に伴う環境への影響がないよう、法規制への対応に留まらず万全の環境保全対策を講じることが必要です。さらに、自然環境や景観との調和に配慮し、3 Rを踏まえた低炭素社会・循環型社会形成に向けた先導的役割を有するとともに、経済性を含めた総合的な見地から最良の環境保全技術が導入されていることが必要です。また、ごみエネルギーの効率的利用などにより、環境保全促進としての機能も期待するものとします。

2. 安全で安心な市民に愛され貢献する施設

新ごみ焼却施設は、豊中市・伊丹市の市民のライフラインを支え、市民生活に貢献するかけがえのない施設です。このため、万全の安全性や危機管理及び環境保全が考慮され、地域や作業環境にとって安全・安心が確保されていること、同時に「この施設があってよかった」と感じてもらえる、「また訪ねてみよう」と思ってもらえるような、市民に親しまれ市民生活に貢献する施設であることが望まれます。

3. 経済性に優れた施設

新ごみ焼却施設は、市民や国民の税金により建設・運営されるものであることを強く認識することが必要です。このため、常に経済性とのバランスに気配りを行うとともに、単に建設費だけでなく、効率的で効果的な運営が可能な施設であること等を通じて、維持管理費を含めたライフサイクルコストが縮減された施設であることが望まれます。

寝屋川市（大阪府）
施 設 概 要
【施設規模】（平成 28 年度稼働予定） ■ 焼却規模：200 t / 日（100 t / 24 h × 2 炉） ■ 処理方式：ストーカ式 【付帯施設】 コミュニティ施設（多目的室・娯楽室・シャワー室）の整備
整 備 方 針
1. 環境対策に優れた安全な施設 有害物質等の規制を遵守し、自主基準値により環境への影響を低減する施設 運転管理の状況がわかりやすい施設 市民から信頼される安全な施設 2. 循環型社会・低炭素社会の実現をめざす施設 ごみ焼却エネルギーを有効に活用できる施設 発電等により化石燃料の使用量を削減できる施設 最終処分量の減容・減量化をめざす施設 3. 周辺環境と調和し、市民に親しまれる施設 周辺住民の生活に配慮し、周辺環境と調和した地域のシンボリックな施設 余熱利用等による市民に役立つ施設 環境教育の役立ち、市民が交流できる開かれた施設 4. 経済的に優れた施設 費用対効果の観点でバランスのとれた施設 ごみ量・質による変動にも対応でき、長期間に亘り安定稼働が持続可能な施設 運転操作性に優れた施設 発電等により、維持管理費を低減できる施設

